

令和元年 12 月 19 日

小平市長 小林正則殿

小平市議会 公明党

要望書

12 月議会において提出された小平市国民健康保険条例の改正は、税率改定により保険税が増額となる内容でした。市民生活に多大なる影響を及ぼす改定であると同時に、将来に渡る改定にも言及する重要な内容にとらえています。市議会公明党は、これまでもデータヘルス計画の実施などの提案を行ってきましたが、今後の国民健康保険会計を鑑みると、市民への負担増のみで対応すべきものではなく、徴収率の向上とともに、健康増進策や早期治療を更に進めることこそが重要であると考え、以下について要望いたします。

1. 保険年金課と健康推進課によるプロジェクトチームを創設し、実効性のある健康増進策の展開
2. 健康ポイント事業の内容の見直し
3. 高齢者肺炎球菌ワクチンの 2 回目以降の接種への補助
4. 高齢者肺炎球菌ワクチン対象者にはがきによるリコールの実施
5. データヘルス事業への参加者の大幅拡充と重症化予防のための対象者への訪問啓発
6. 誤嚥防止、口腔ケアの啓発講座の開催
7. 受験生へのインフルエンザ予防接種補助